



育ちゆけ 根っこ

入園、進級おめでとうございます。新しいページの始まりです。全てを新しい気持ちで始めていきましょう。新たな経験を一つひとつ積み重ねながら、その子らしく成長していけるよう、全教職員で支えていきます。どうぞよろしくお祈りいたします。

3月の終わりには、こひつじ幼稚園の園庭の雪は、すっかりなくなりました。かがみながら、庭の片隅を見ていると、

「よもぎの葉っぱが生まれた」「先生、今年もよもぎ餅しようね」「本当は私、よもぎはあんまり好きじゃないの」「えー、私は好きだ。食べてあげるよ」

「福寿草が咲いた」「ピカピカの花びらだね、嬉しいんだね。春だからね」

「クロッカスを見つけた」「仲間と並んで咲くんだね」

「椎茸がまた生まれてきている」「またきのこご飯しようね」

などと、楽しい会話が広がりました。下ばかり見ながら私の周りに集まった子たちのと会話を楽しみました。ふと顔を上げると、みんなジャンパーがドロドロンの泥だらけでした。びっくりです。昨年、掘った池に雪解け水が溜まり、冬のおわりから春の始に泥遊びを楽しんでいる預かり保育の子どもたちでした。泥んこのどの顔も幸せそうに美しく笑っています。私も嬉しくて楽しくて、みんなで声を出して大笑いしました。

こひつじ幼稚園の春は、子どもたちが命と向き合います。花が生まれた、草が生えたその先を想像させ、経験させながらゆっくり命の大切さを紐解いていきます。

以前、園庭に咲いた立派なたんぽぽを見て、春の訪れを喜び合ったことがあります。私は、たんぽぽの周りを掘って根っこを取り出してみようと思いました。しばらく頑張ると、ゴボウのような長い根っこが掘り上がりました。子どもたちはその長さに驚きました。雑草と言われるカモガヤも同じように掘ってみました。サンタクロースのお髭みたいとびっくりしました。子どもたちは、植物には、根っこがとても大切で、色々な根っこがあることを知ったのでした。

地面の上の見えるところは、鮮やかな緑で、花が咲き華やかです。しかし、根っこは深く、また広がってしっかり根ざしており、表面に現れるのはほんの一部に過ぎないということに気がつきます。

子どもたちは、さまざまな植物を育てたり味わったり、遊びに利用したりしながら、自然を自分の身近なものにしていくのです。今年も畑には、みんなで相談した植物を植えることでしょう。育てた植物を口にする頃には、「感謝」という心を知るのです。

私たちは、子どもの見える姿も、ほんの一部だと考えます。心の深いところまで、時間をかけてゆっくり育て、その子、その子の立派な根っこを育てていきます。北風の日は大地に吹き飛ばぬようしっかり根を這わせ、暑い日は大地から栄養を吸い込み、根を太くし、次の花の準備にかかるのです。どんな生き物にとっても根っこが大切です。

どのような根っこが育っていくのか、我が子には何色の花が咲くのか楽しみにしててください。必ず、必ず、人とは違う素敵な花が咲くことでしょう。保護者の皆様にはこのこひつじ幼稚園の大地で育つ意味を感じてくださるはずだと信じています。